

平成23年度 財務の概要

福岡北九州高速道路公社

目 次

1. 会計処理の特徴	1
2. 償還準備金積立方式のしくみ	2
3. 収支状況	3
4. 営業中道路の収支状況	4
5. 財務状況	6
6. 償還準備金の積立状況	8
7. 料金収入・通行台数・供用延長の推移	9
8. 供用実績	10
9. 長期借入金の残高状況	12
10. 償還計画と実績の対比	13
11. キャッシュフロー計算書	14

1. 会計処理の特徴

公社では、財政状態や経営成績を明らかにするため、一般に公正妥当と認められている企業会計原則に準じた会計処理を行っています。

＜根拠法令等＞ 地方道路公社法、同法施行規則、福岡北九州高速道路公社会計規程、同規程実施細則

有料道路制度の会計の特徴は

- 有料道路事業は、借入金により道路を建設し、お客様からの料金収入により定められた期間内に償還し、償還完了後は無料開放する制度です。
- 毎年度の『収支差』（収入と費用の差）は全て投下資金（借入金）の償還に充当します。

借入金の償還状況を適切に把握するために

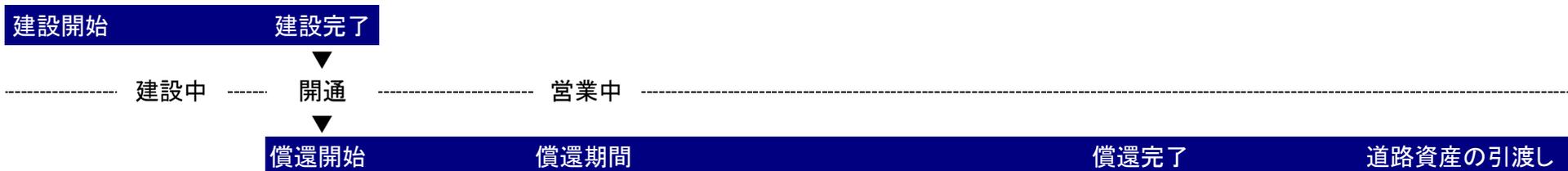
- 福岡北九州高速道路公社は、利益を配当する義務がなく、法人税法の公共法人であるため、法人税を課せられたりすることがなく、収支差の全てを償還に充当します。
- 新たな設備投資資金を積み立てるという企業会計上一般に採用されている減価償却費を計上する方式ではなく、むしろ、無料開放を実現するとの観点から、借入金の償還状況を会計処理において適切に把握することが重要です。

償還準備金積立方式を採用

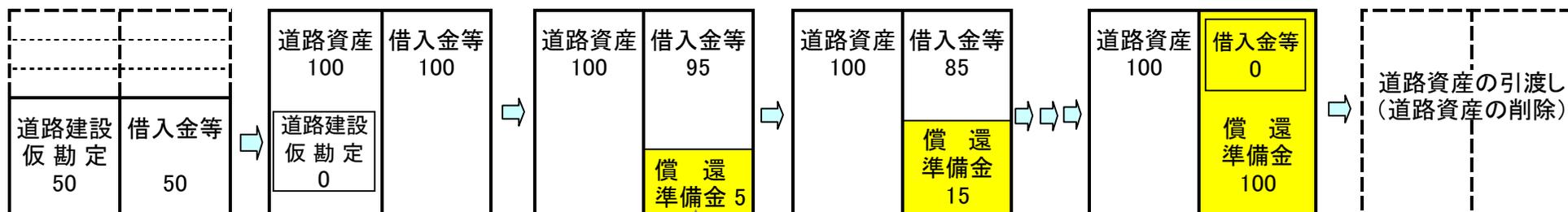
- 借入金の償還に充てられる各年度の『収支差』を『償還準備金繰入』として費用計上し、その累計額を『償還準備金』として負債に計上する方式を採用しています。
- 道路の資産を形成するのに要した費用を積み上げた『道路資産』と借入金の返済に充てる『償還準備金』を対比することにより、償還状況が明確に把握できます。

2. 償還準備金積立方式のしくみ

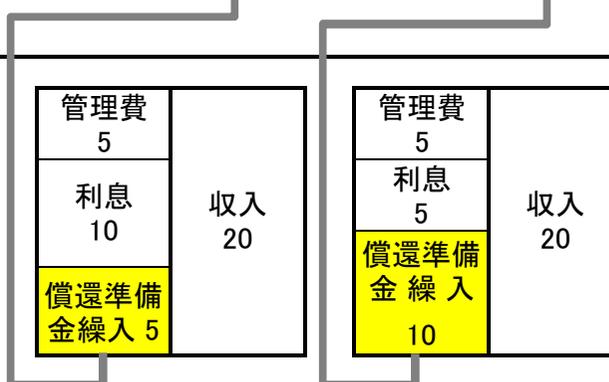
公社の貸借対照表と損益計算書にみる償還準備金積立方式のしくみ



■ 貸借対照表



■ 損益計算書



3. 収支状況

平成23事業年度損益計算書（平成23年4月1日から平成24年3月31日まで）

（単位：百万円）

費用の部				収益の部			
勘定科目	H23年度	H22年度	増減額	勘定科目	H23年度	H22年度	増減額
	A	B	A-B		A	B	A-B
経常費用	51,990	51,116	874	経常収益	52,017	51,173	844
事業資産管理費	9,398	9,674	△ 276	業務収入	51,835	50,810	1,025
福岡高速道路管理費	5,708	5,383	325	道路料金収入	51,191	50,014	1,177
北九州高速道路管理費	3,591	4,195	△ 604	(福岡高速道路)	35,706	35,109	597
駐車場管理費	99	96	3	(北九州高速道路)	15,485	14,905	580
一般管理費	1,214	1,314	△ 100	ETCマイルージ還元負担金収入	234	439	△ 205
一般管理費	970	1,068	△ 98	(福岡高速道路)	210	402	△ 192
その他	244	246	△ 2	(北九州高速道路)	23	37	△ 14
引当金等繰入	30,778	29,077	1,701	駐車場料金収入	208	209	△ 1
道路事業損失補填引当金繰入	2,438	2,382	56	ETCマイルージ引当金戻入	78	0	78
(福岡高速道路)	1,700	1,672	28	(福岡高速道路)	58	0	58
(北九州高速道路)	737	710	27	(北九州高速道路)	20	0	20
償還準備金繰入	28,340	26,695	1,645	その他	125	147	△ 22
(福岡高速道路)	21,553	21,296	257	受託業務収入	114	268	△ 154
(北九州高速道路)	6,787	5,399	1,388	負担金事業受入金	17	28	△ 11
受託業務費	114	268	△ 154	業務外収益	51	67	△ 16
負担金事業費	17	28	△ 11	受取利息	14	10	4
業務外費用	10,469	10,756	△ 287	その他	37	57	△ 20
債券利息	6,474	6,211	263	特別利益	0	17,310	△ 17,310
借入金利息	3,771	4,332	△ 561	道路事業損失補てん引当金取崩益	0	17,310	△ 17,310
その他	224	212	12	福岡高速道路事業損失補てん引当金取崩益	0	17,310	△ 17,310
特別損失	0	17,310	△ 17,310				
償還準備金繰入損	0	17,310	△ 17,310				
福岡高速償還準備金繰入損	0	17,310	△ 17,310				
当期利益金	27	56	△ 29				
合 計	52,017	68,483	△ 16,466	合 計	52,017	68,483	△ 16,466

(注)各費目において四捨五入しているため、合計において合致しない場合があります。

4. 営業中道路の収支状況

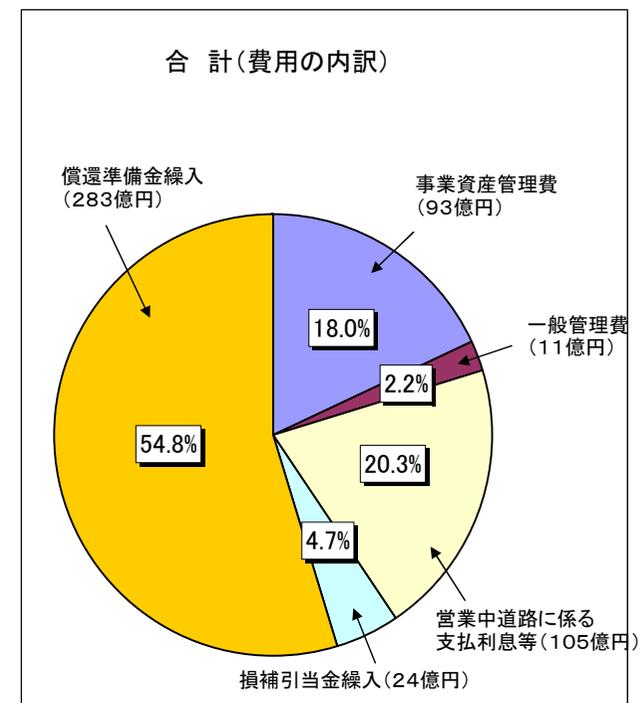
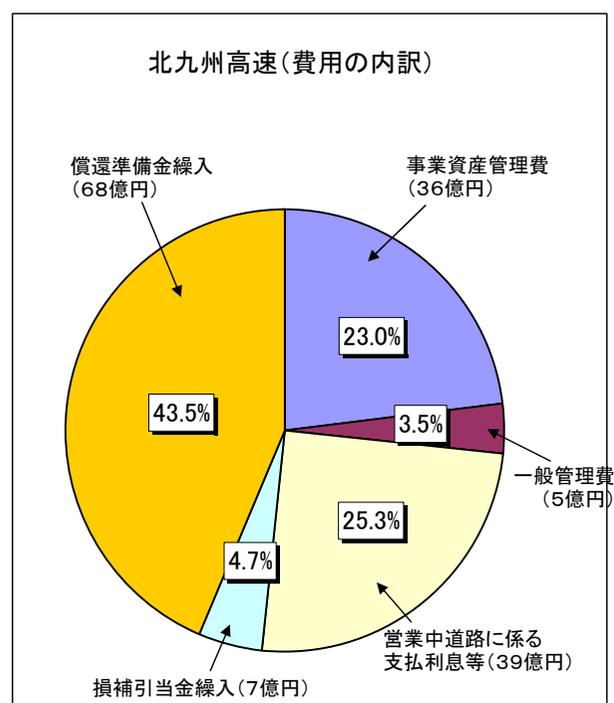
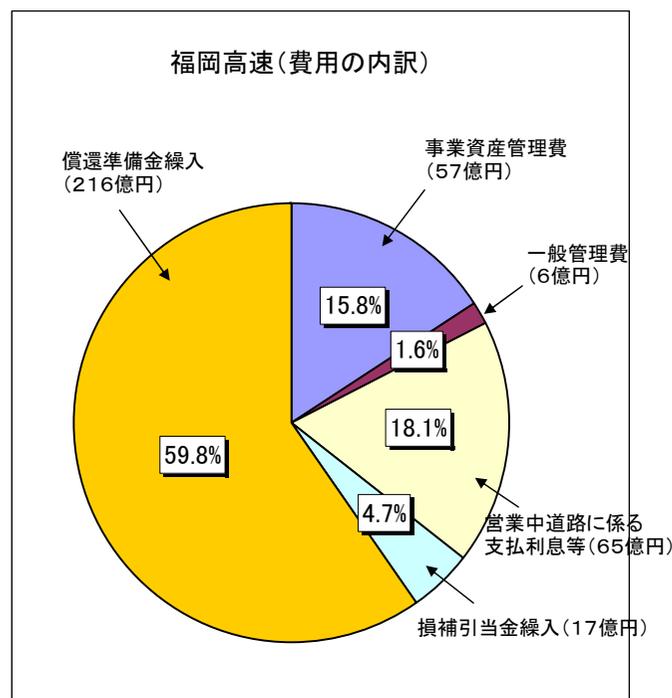
(単位:百万円)

	福岡高速道路								北九州高速道路								合計							
	収益 A	営業中道路に係る費用					償還準備金繰入額 A-B	収支率 B/A× 100円	収益 A	営業中道路に係る費用					償還準備金繰入額 A-B	収支率 B/A× 100円	収益 A	営業中道路に係る費用					償還準備金繰入額 A-B	収支率 B/A× 100円
		事業 資産 管理費	一般 管理費	支払 利息等	損補 引当金 繰入	計 B				事業 資産 管理費	一般 管理費	支払 利息等	損補 引当金 繰入	計 B				事業 資産 管理費	一般 管理費	支払 利息等	損補 引当金 繰入	計 B		
H23	36,079	5,708	582	6,535	1,700	14,526	21,553	40.3円	15,597	3,591	548	3,934	737	8,810	6,787	56.5円	51,676	9,299	1,130	10,469	2,438	23,336	28,340	45.2円
H22	35,614	5,383	643	6,621	1,672	14,318	21,296	40.2円	15,041	4,195	603	4,135	710	9,642	5,399	64.1円	50,655	9,577	1,245	10,756	2,382	23,960	26,695	47.3円

・「償還準備金繰入」は、営業中道路から生じる毎期の収支差を高速道路の建設・改良に投下した借入金の返済に充てるもので償還準備金に繰り入れられるものです。

・「収支率」は、100円の収入を得るのにどのくらいの費用が必要であったかを示すものです。

(注)各費目において四捨五入しているため、合計において合致しない場合があります。



【道路部門】

(1) 福岡高速道路

- ① 経常収益は、360億7,900万円(対前年比4億6,400万円の増)となりました。これは、東日本大震災の影響及び外環状道路の4車線化による交通量の減少があったものの、野芥～福重間の開通及び西九州道接続等の効果による交通量の増加(対前年度比1,015台/日増)により増収となったものです。
- ② 経常費用(償還準備金繰入を除く)は、145億2,600万円(対前年比2億800万円の増)となりました。これは、管理費のコスト縮減、金利低下などによる支払利息等が減少したものの、課税仕入控除の減による消費税の額が6億5,600万円増加したことによるものです。
- ③ 道路事業における収入から管理費と支払利息等を差引いた収支差である償還準備金繰入は、215億5,300万円(対前年比2億5,700万円の増)となり、道路の建設に投下した借入金の返済に充当しました。

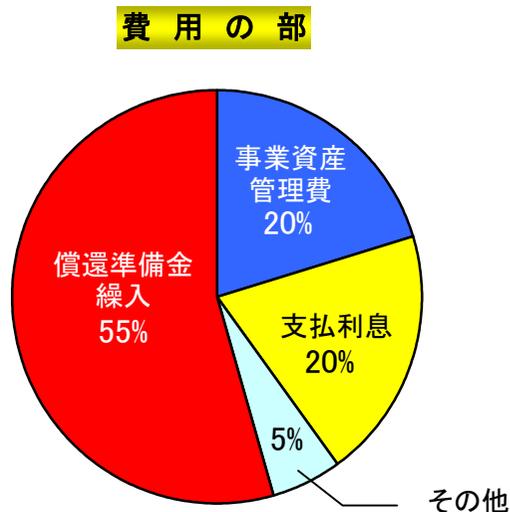
(2) 北九州高速道路

- ① 経常収益は、155億9,700万円(対前年比5億5,600万円の増)となりました。これは、前年度に利用されていた回数券相当分がETC等へシフトしたことによるものです。
- ② 経常費用(償還準備金繰入を除く)は、88億1,000万円(対前年比8億3,200万円の減)となりました。これは、回数券の払い戻し額が3億9,800万円減少したことや、管理費及び支払利息等が減少したことによるものです。
- ③ 道路事業における収入から管理費と支払利息等を差引いた収支差である償還準備金繰入は、67億8,700万円(対前年比13億8,800万円の増)となり、道路の建設に投下した借入金の返済に充当しました。

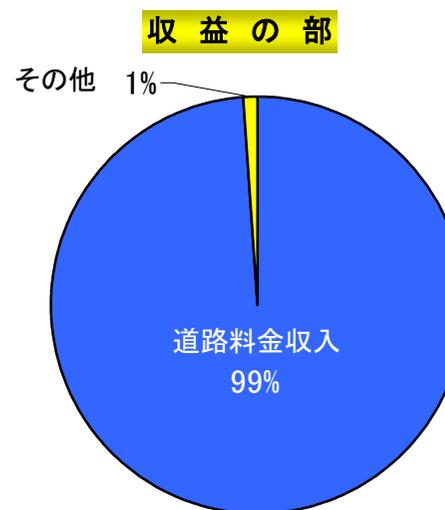
【駐車場部門】

- ① 当期利益は2,700万円(対前年比2,900万円の減)となりました。

☆損益計算書(道路・駐車場)



※その他:借入金関係諸費等、損失補てん引当金繰入、受託業務費ほか



※その他:駐車場料金収入、業務外収益、受託業務収入ほか

5. 財務状況

平成23事業年度貸借対照表

(平成24年3月31日現在)

(単位:百万円)

資 産 の 部				負 債 及 び 資 本 の 部			
勘 定 科 目	H23年度	H22年度	増減額	勘 定 科 目	H23年度	H22年度	増減額
	A	B	A-B		A	B	A-B
流動資産	5,043	4,125	918	流動負債	70,012	74,221	△ 4,209
固定資産	1,244,430	1,240,925	3,505	固定負債	695,406	718,306	△ 22,900
事業資産	1,234,150	1,232,946	1,204	福岡北九州高速道路債券	349,711	340,111	9,600
福岡高速道路	859,572	858,572	1,000	長期借入金	337,936	370,254	△ 32,318
北九州高速道路	374,578	374,374	204	退職給与引当金	676	779	△ 103
事業資産建設仮勘定	7,849	5,354	2,495	ETCマイレージ引当金	195	273	△ 78
福岡高速道路	7,849	5,354	2,495	資産見返交付金	6,889	6,889	0
北九州高速道路	0	0	0				
有形固定資産	2,183	2,272	△ 89	特別法上の引当金等	263,399	232,621	30,778
その他	248	353	△ 105	道路事業損失補填引当金	26,944	24,506	2,438
				福岡高速道路	10,167	8,467	1,700
				北九州高速道路	16,776	16,039	737
繰延資産	1,067	1,119	△ 52	償還準備金	236,455	208,115	28,340
				福岡高速道路	217,602	196,048	21,554
				北九州高速道路	18,853	12,067	6,786
				(負債合計)	1,028,817	1,025,148	3,669
				基本金	220,932	220,257	675
				剰余金	792	764	28
				(資本合計)	221,723	221,021	702
資 産 合 計	1,250,541	1,246,169	4,372	負 債・資 本 合 計	1,250,541	1,246,169	4,372

(注)各費目において四捨五入しているため、合計において合致しない場合があります。

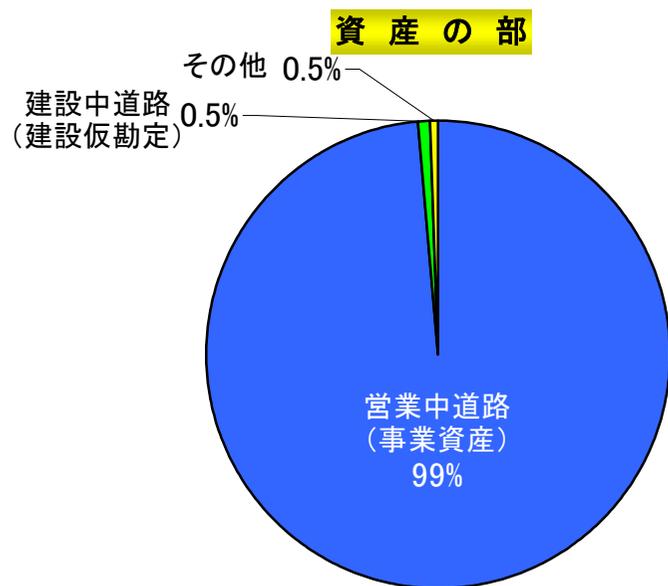
(資産の状況)

資産の総額は、1兆2,505億4,100万円となっております。このうち営業中の道路資産は1兆2,341億5,000万円、工事中道路の道路資産は78億4,900万円となっております。この合計額は、1兆2,419億9,900万円です。資産全体の約99%を占めております。

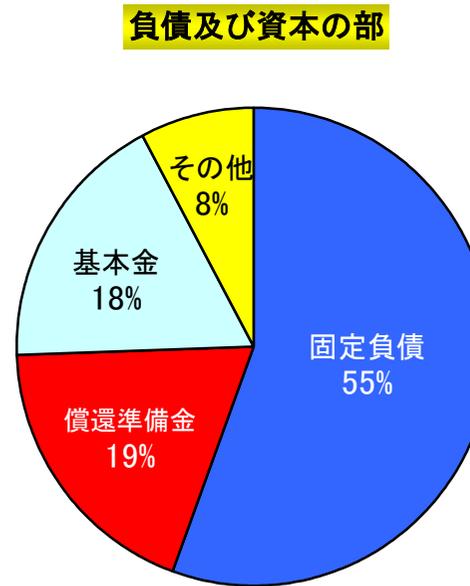
(負債及び資本の状況)

負債及び資本の総額は、1兆2,505億4,100万円となっております。主なものは、道路債券などの借入金が7,523億8,500万円（流動負債計上分647億3,800万円と固定負債計上分6,876億4,700万円の合計額）、営業中道路の建設・改良に投じた借入金の返済に充てた額（償還準備金）が2,364億5,500万円（福岡高速2,176億200万円、北九州高速188億5,300万円）、地方公共団体からの出資金が2,209億3,200万円となっております。

☆貸借対照表より



※その他:流動資産、有形資産、その他資産



※その他:流動負債、退職給与引当金、損失補てん引当金ほか

6. 償還準備金の積立状況

【福岡高速道路】

(単位:百万円)

	営業中道路 (償還対象額) (A)	償還準備金 (B)	未償還残高 (A-B)	償還率 (B/A) × 100
H23	857,259	217,602	639,657	25.4%
H22	856,259	196,048	660,210	22.9%

【北九州高速道路】

(単位:百万円)

	営業中道路 (償還対象額) (A)	償還準備金 (B)	未償還残高 (A-B)	償還率 (B/A) × 100
H23	370,002	18,853	351,149	5.1%
H22	369,798	12,067	357,731	3.3%

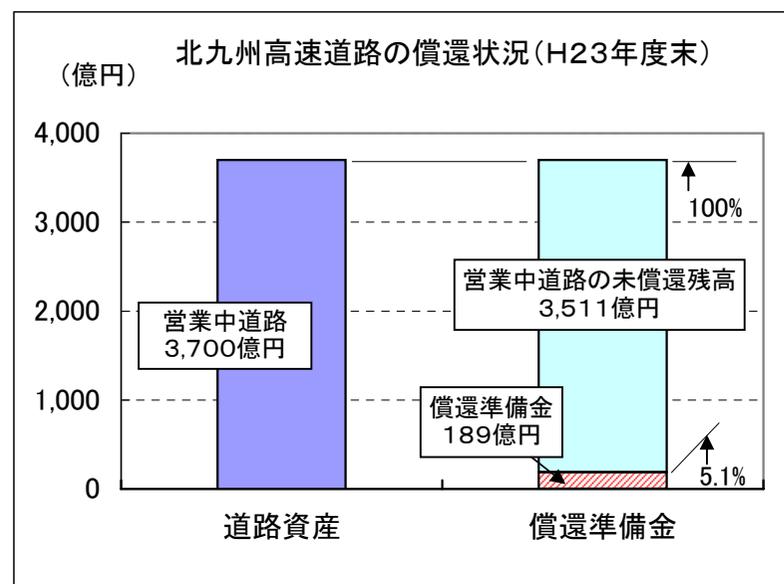
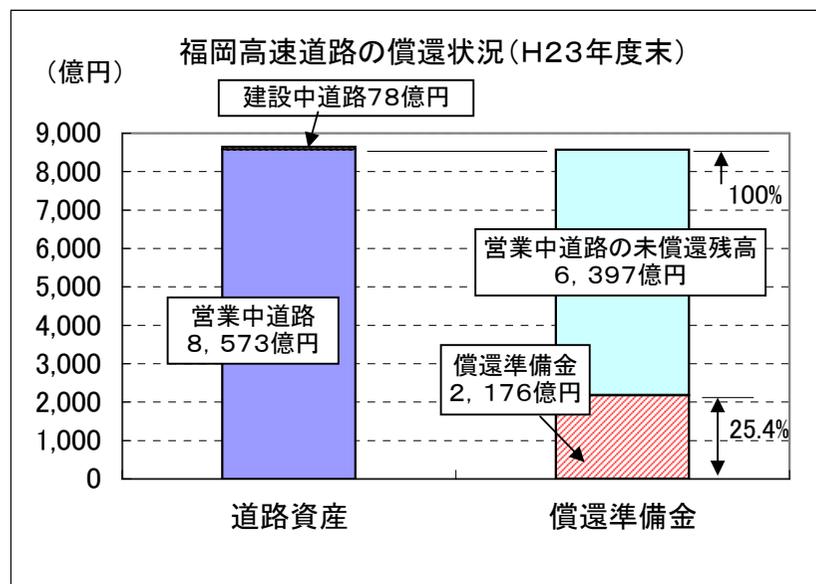
「営業中道路(償還対象額)」とは、営業中道路の建設に投下した額の合計額(営業中道路の資産総額)から、償還を要しない資産見返交付金(補助金)を控除した額。

「償還準備金」とは、当該年度末までの償還準備金繰入額の累計額。

「未償還残高」とは、営業中道路について今後償還準備金を積み立てて、返済をしていくことになる金額。

(単位:百万円)

	営業中道路の 資産総額	資産見返 交付金	営業中道路 (償還対象額)	備 考
福岡高速道路	859,572	2,313	857,259	この他に、工事中道路の資産総額(道路建設仮勘定):7,849
北九州高速道路	374,578	4,576	370,002	



7. 料金収入・通行台数・供用延長の推移（全体）

平成23年度

料金収入 **512億円**

日平均料金収入 **1.40億円**

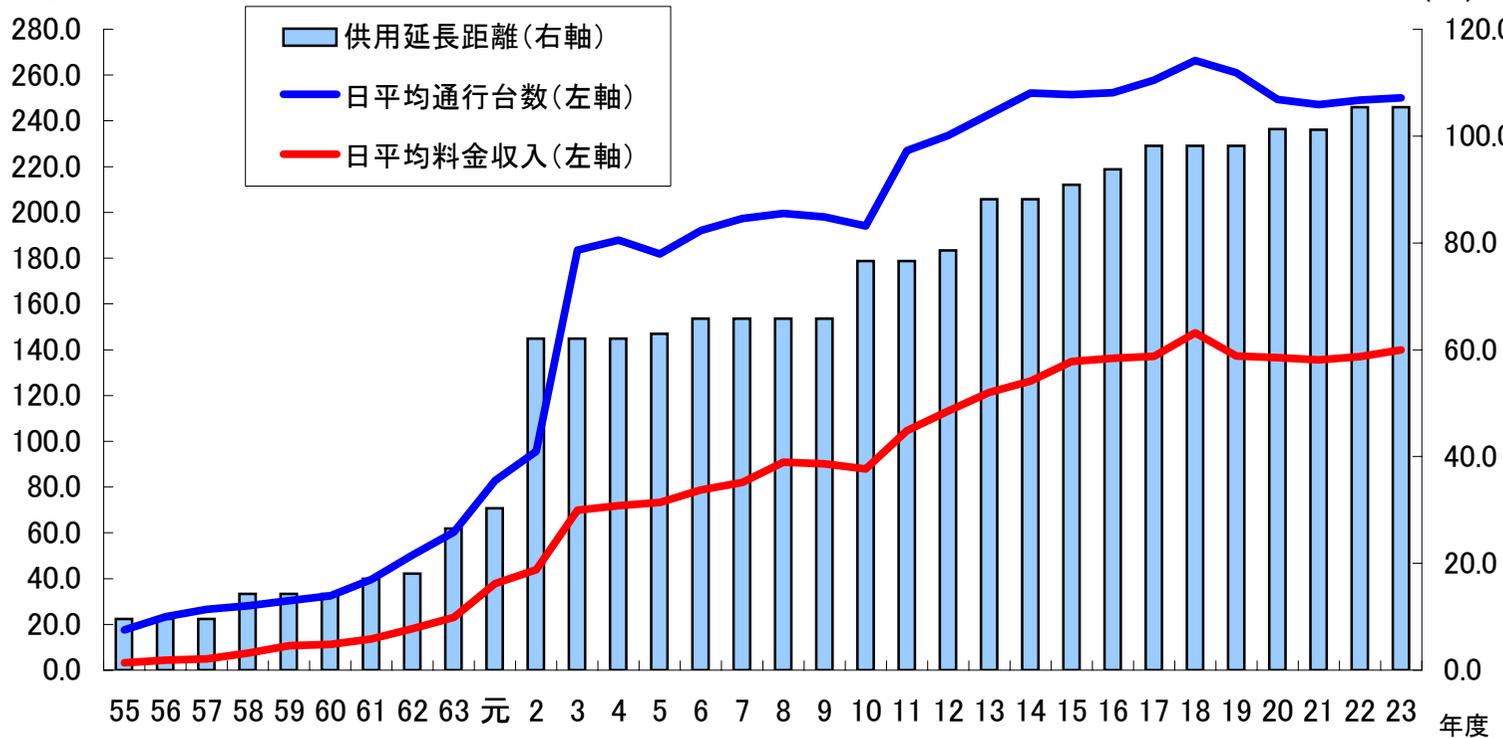
日平均通行台数 **25.0万台**

日平均料金収入・通行台数

供用延長距離

(百万円・千台)

(km)



供用延長距離	
平成24年3月末現在	105.4km
料 金	
福岡高速	
普通車	600円
大型車1	2,000円
北九州高速	
普通車	500円
大型車1	1,000円

8. 供用実績

〔福岡高速道路〕

供用区分	供用年月日 料金改定日	供用延長 (km)		供用区間	料 金 (円)	
		区間	累計		大型車	普通車
一次供用	S55. 10. 20	5.9	5.9	香椎～東浜	400	200
	S57. 3. 27	—	5.9	貝塚入口		
	S58. 6. 30	—	5.9	貝塚出口		
二次供用	S58. 10. 6	1.5	7.4	東浜～築港	700	350
三次供用	S61. 4. 23	0.8	8.2	千鳥橋 J C T～呉服町		
四次供用	S62. 11. 6	1.0	9.2	築港～天神北	800	400
五次供用	S63. 10. 31	2.1	11.3	天神北～西公園		
				千鳥橋 J C T (渡り線)		
六次供用	H 1. 3. 4	5.2	16.5	西公園～百道	1,000	500
				呉服町～榎田		
				豊 J C T～空港通		
	H 1. 10. 1	—	16.5	料金改定	1,030	510
	H 2. 12. 25	—	16.5	名島本線料金所拡幅		
	H 3. 3. 21	—	16.5	東浜西出口		
H 4. 4. 23	—	16.5	名島出入口			
H 4. 7. 1	—	16.5	東浜西入口			
七次供用	H 5. 4. 2	0.9	17.4	香椎東～香椎	1,030	510
八次供用	H 6. 4. 4	2.8	20.2	榎田～月隈北		
	H 9. 6. 1	—	20.2	料金改定 (回数通行券料金)		
九次供用	H11. 3. 27	10.8	31.0	月隈～水城	1,100	550
				貝塚 J C T～粕屋		
十次供用	H12. 3. 28	—	31.0	料金改定・貝塚入口	1,100	550
十一次供用	H12. 11. 21	0.5	31.5	貝塚 J C T (渡り線)		
十二次供用	H13. 10. 13	5.3	36.8	百道～福重		
十二次供用	H14. 3. 10	1.9	38.7	粕屋～福岡 I C	1,200	600
	H15. 5. 1	—	38.7	料金改定		
十三次供用	H15. 5. 1	2.7	41.4	月隈 J C T～板付		
十四次供用	H16. 6. 27	2.9	44.3	西月隈出入口・板付～野多目		
十五次供用	H18. 3. 26	4.4	48.7	野多目～堤		
十六次供用	H20. 4. 19	3.1	51.8	堤～野芥		
十七次供用	H23. 2. 26	4.1	55.9	野芥～福重		
備考	堤西および野芥西料金所において自動料金収受機運用					

(注) 料金改定日は、一次供用を除き供用年月日の翌日です。但し、料金改定のみの場合は同日です。

〔北九州高速道路〕

供用区分	供用年月日 料金改定日	供用延長 (km)		供用区間	料 金 (円)							
		区間	累計		大型車	普通車						
一次供用	S55. 10. 20	3. 7	3. 7	日明～篠崎北	300	150						
二次供用	S58. 10. 6	3. 2	6. 9	篠崎北～若園 東港出入口	700	350						
	S59. 4. 21	—	6. 9	篠崎南出口								
三次供用	S61. 12. 2	2. 0	8. 9	若園～横代 篠崎南入口								
				四次供用	S63. 12. 17	1. 1	10. 0	愛宕 J C T～下到津				
五次供用	H 1. 8. 30	2. 8	12. 8	日明～戸畑	720	360						
六次供用	H 2. 3. 31	1. 0	13. 8	戸畑～若戸 東港 J C T～小倉駅北 西港出口 東港出入口廃止								
				七次供用			H 3. 3. 31	31. 8	45. 6	春日～馬場山 一部区間料金 (4号線)	300	150
											400	200
500	250											
600	300											
七次供用	H 5. 4. 1	—	45. 6	料金改定	720	360						
				H 7. 9. 30	—	45. 6	山路出入口	900	450			
				H 9. 6. 1	—	45. 6	料金改定 (回数通行券料金)					
八次供用	H12. 7. 26	1. 5	47. 1	長野～横代	1, 000	500						
	H12. 11. 1	—	47. 1	料金改定								
九次供用	H13. 7. 2	2. 4	49. 5	枝光出入口～大谷出入口 大谷 J C T								
十次供用	H18. 2. 26	—	49. 5	小倉東IC接続								
十一次供用	H22. 12. 15	—	49. 5	東田出入口								
備 考	九州縦貫自動車道八幡ICと北九州高速との接続ランプに金剛出口を新設 (H17. 3. 31供用) 九州縦貫自動車道八幡ICと北九州高速との接続ランプに金剛入口を新設 (H18. 3. 4供用) 篠崎北及び大里北料金所において自動料金収受機運用											

(注) 料金改定日は、一次、七次供用を除き供用年月日の翌日です。但し、料金改定のみの場合は同日です。

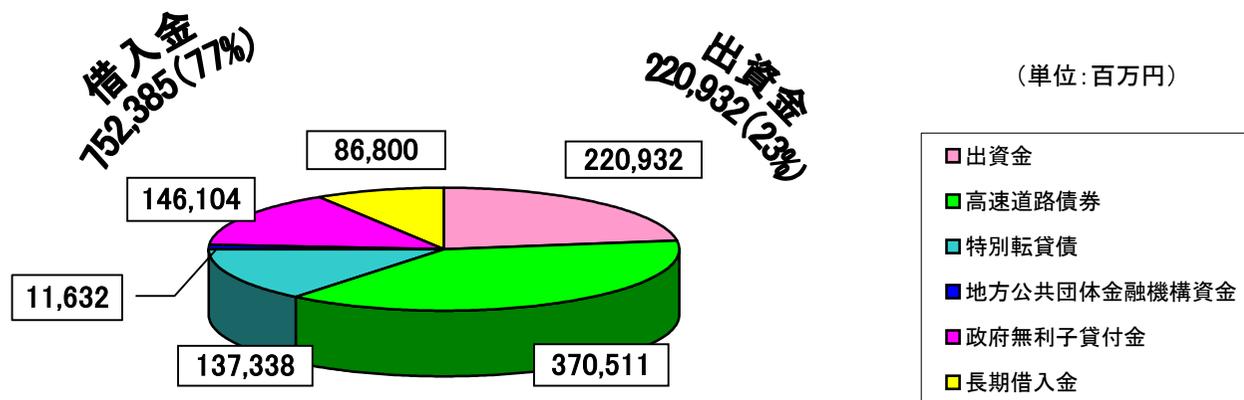
9. 長期借入金の残高状況

平成23年度末借入金残高

(単位:百万円)

	全 体			路線別内訳						
				福岡高速			北九州高速			
	H23年度	H22年度	増減額	H23年度	H22年度	増減額	H23年度	H22年度	増減額	
	A	B	A-B	A	B	A-B	A	B	A-B	
設立団体出資金	220,932	220,257	675	163,436	162,761	675	57,496	57,496	0	
借入金	高速道路債券	370,511	366,211	4,300	215,216	217,156	△ 1,940	155,295	149,055	6,240
	特別転貸債	137,338	149,878	△ 12,540	107,505	115,756	△ 8,251	29,833	34,122	△ 4,289
	地方公共団体金融機構資金	11,632	12,485	△ 853	9,375	10,071	△ 696	2,257	2,414	△ 157
	政府無利子貸付金	146,104	160,275	△ 14,171	114,476	124,880	△ 10,404	31,628	35,395	△ 3,767
	長期借入金	86,800	91,100	△ 4,300	28,000	27,000	1,000	58,800	64,100	△ 5,300
	計	752,385	779,949	△ 27,564	474,573	494,863	△ 20,290	277,812	285,086	△ 7,274
合計	973,317	1,000,206	△ 26,889	638,008	657,624	△ 19,615	335,308	342,582	△ 7,274	

(注)各項目において四捨五入しているため、合計において合致しない場合があります。



5. 償還計画と実績の対比

【平成23年度決算】

(単位:億円)

道路名		収入(a)	費用(b)				償還準備金繰入(a-b)	償還準備金	事業資産(交付金除く)	償還率(%)
			管理費(うち消費税)	損失補填	金利	合計				
合 計	決算	517	104 (20)	24	105	233	283	2,365	12,273	19%
	計画	542	129 (21)	26	113	268	275	2,373	12,279	19%
福岡高速	決算	361	63 (14)	17	65	145	216	2,176	8,573	25%
	計画	364	79 (14)	17	68	164	199	2,150	8,574	25%
北九州高速	決算	156	41 (6)	7	39	88	68	189	3,700	5%
	計画	179	50 (7)	8	45	104	75	223	3,706	6%

※四捨五入の関係で計が合わないことがあります。

●償還計画の対比方法

償還計画は、福岡は料金認可(平成23年2月)、北九州は料金認可(平成20年10月)の値を使用しました。実績(平成23年度決算)と対比するため償還計画を下記のとおり変換しました。

- ・収入は、ETCマイレージ還元負担金、ETCマイレージ引当金戻入を加算しました。
- ・管理費は償還計画表上の管理費から道路改良費を減じ、ETCマイレージ還元負担金、ETCマイレージ引当金戻入、減価償却費、退職給与引当金繰入を加算しました。
- ・償還準備金繰入は、収入から管理費、金利、損失補填引当金繰入を差引きました。
- ・償還準備金は、計画作成時の実績に各年度の償還準備金繰入を加算しました。
- ・事業資産は、計画作成時の実績から交付金を除き、その後に供用した道路の建設費の累計を加算するとともに、各年度の管理費のうち改良費を加算しました。
- ・償還率は、償還準備金を事業資産から交付金を差引いたもので除算しました。

平成22・23事業年度福岡北九州高速道路公社キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

	H22事業 年度 A	H23事業 年度 B	増減額 B - A
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
当期償還準備金繰入	440.0	283.4	△ 156.6
当期利益	0.6	0.3	△ 0.3
減価償却費	2.2	2.2	0.0
債券発行諸費等償却	1.8	1.9	0.1
退職給与引当金等の増減額	△ 2.5	△ 2.7	△ 0.1
E T Cマイレージ引当金の増減額	0.3	△ 0.8	△ 1.0
損失補てん引当金の増減額	△ 149.3	24.4	173.7
受取利息	△ 0.1	△ 0.1	0.0
債券利息	62.1	64.7	2.6
借入金利息	43.3	37.7	△ 5.6
未収金(投資活動、財務活動を除く)の増減額	△ 0.4	△ 2.3	△ 1.9
未払金(投資活動、財務活動を除く)の増減額	0.1	6.2	6.2
小計	398.1	415.0	16.9
利息の受取額	0.1	0.1	0.0
債券利息等の支払額	△ 61.0	△ 63.8	△ 2.8
借入金利息の支払額	△ 43.7	△ 38.0	5.7
営業活動によるキャッシュ・フロー	293.5	313.4	19.9
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
事業資産の取得による支出	△ 14.9	△ 5.1	9.8
建設仮勘定の取得による支出	△ 134.2	△ 25.1	109.1
固定資産の取得による支出	△ 0.6	△ 0.2	0.4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 149.7	△ 30.4	119.3
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入による収入	5.8	0.0	△ 5.8
短期借入金の返済による支出	0.0	△ 5.8	△ 5.8
長期借入による収入	179.7	115.9	△ 63.8
長期借入金の返済による支出	△ 488.8	△ 434.8	54.0
債券の発行による収入	348.5	302.9	△ 45.6
債券の償還による支出	△ 237.0	△ 261.0	△ 24.0
出資金の受入による収入	18.8	6.8	△ 12.0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 173.1	△ 276.1	△ 103.0
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	0.0	0.0	0.0
V 現金及び現金同等物の増加額	△ 29.3	6.9	36.2
VI 現金及び現金同等物期首残高	30.5	1.3	△ 29.3
VII 現金及び現金同等物期末残高	1.3	8.2	6.9

※各項目で四捨五入しているため、合計において合致しない場合があります。

(注記) 現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

現金・預金	1.3 億円	8.2 億円	6.9 億円
現金及び現金同等物	1.3 億円	8.2 億円	6.9 億円

○損失補填引当金

損失補填引当金は、個々の道路で将来事情の不可測性等により償還計画満了時に借入金等が残った場合に備えて、その補填に充てるため料金収入の一部を積み立てているもので、道路整備特別措置法に定められています。

すなわち損失補填金は、決算では費用として扱っていますが、将来のリスクに備え、会社の経営の安定を図る内部保留金としての性格を持っており、その額は借入金の返済余裕を表しています。

損失補填金の残高は平成22年度末で245億円となっています。